



建荷協長野県支部通信

第6巻 第2号

発行日 平成30年8月6日

〒380-0872
長野市妻科426-1
長野県建築士会館4F
TEL 026-232-2880
FAX 026-232-6606
http://www.sacl-nagano.jp

I 地域協議会 会長会議が開催される

6月19日、ホテル国際21において、平成30年度第1回地域協議会会長会議が開催され、県下6地域の会長が出席されました。(長野・上田・佐久・松本・伊那・飯田)会議では、昨年度実施した特自検パトロールの結果と全国の巡回指導の状況について報告され、地域協議会設置要綱及び各実施要領等について説明がなされました。

特自検パトロールを行う事業内検査事業場、非会員検査業については支部事務局が選定し、各地域協議会が実施することになります。

今後、各地域協議会は8月中には地区総会を開き、パトロールを行う事業場や配分を決め、10月～11月の強調月間を中心にパトロールを実施することになります。地域の自主的な活動を基盤に適正な特定自主検査の実施指導を行うことにより、労働災害の未然防止に貢献して行きたいと考えております。

長野労働局・労働基準部では検査業者を対象に特自検パトロールを実施しています。関連書類、検査機器の確認をお願い致します。

II 第2回研修委員会が開催される

7月20日、今年度第2回目の研修委員会が、小林支部長参加の下で開催されました。小林支部長のご挨拶の後、高所作業車の新任講師が紹介され、研修委員の総数は16人となりました。

- ①地域協議会への参画について討議され、特自検パトロール実施時の巡回指導員として、担当の地域割りが決定しました。また、地域協議会の各地区総会への参画も積極的に行うことを確認しました。
- ②平成30年度の研修進捗状況の報告がありました。8月以降開催される研修の担

当講師が決まり、来年度の研修実施計画(案)について討議を行いました。来年度も概ね今年度と同内容の研修を実施することを確認しました。また、研修講師をさらに補充推薦していくことを確認しました。

研修の実習用工具、備品の不足について要望が出されたため、対応していくことで確認しました。



III 長野労働局長による安全パトロールの実施

7月2日(月)、長野労働局(石田茂雄局長)では、「全国安全週間」本週間に広く社会一般の安全意識高揚と安全活動の定着、労働災害防止に向けた機運の醸成を図り、「第13次労働災害防止推進計画(5か年計画)の初年度の大幅減少を図るため、局長自らが労働災害防止安全パトロールを実施し、県内全ての事業所に対して、労働災害の防止対策の徹底

を呼びかけました。

平成30年上半年期(1～6月)県内全産業における労災発生状況は、①死亡災害5人(前年12人から減少)、②死傷災害(休業4以上)は893人(前年892人から微増)という状況です。事故の型別で最多は「転倒」で271人、「墜落・転落」146人、「挟まれ・巻き込まれ」130人、3つの事故の型で全体の6割を占めています。



目次：

地域協議会会長会議の開催	I
第2回研修委員会開催	II
長野労働局から	III
研修事業の進捗状況	IV
事務局だより	V

記録的猛暑に注意！！

- 熱中症の危険のある日が続きます。予防対策を十分にとりましょう。
- 水分補給と塩分摂取で疲れをためずにリフレッシュ (^_^)/

～心もからだもひと休み～



『自然災害は起こることを防ぐことはできないが、知り、備えることにより、被害を軽減することができる』

自分・家族・ご近所や地域との連携が大切です

Q&Aコーナー

Q: 2019年(平成31年)4月30日に天皇が退位し、5月1日に新天皇の即位となりますが、建荷協で発行している**特定(定期)自主検査済標章**は現状の和暦で表記し、改元に伴い変更されるのでしょうか？
又は、西暦の表記に変更されるのでしょうか？

A: 2019年(平成31年)の**特定(定期)自主検査済標章**は**和暦の31年標章で通年運用(1月～12月)**します。

理由：①新元号の公表時期が未確定である。

②注文、印刷の都合上、止むを得ない処置

*標章の裏面台紙には「本標章は平成31年及び新元号元年に適用する」の注記が記載されます。

建荷協では9月からHP、機関紙等で周知を開始する予定です。



IV 研修事業は順調に進捗

6月13日～15日、高所作業車検査業検査者資格取得研修が長野地域職業訓練センターで行われました。受講者は14名、昨年より2名増で例年と比較し減少傾向となっています。



6月21日、クレーン機能付き油圧ショベル(クローラ式)安全教育が長野地域職業訓練センターで行われ、受講者は18名で、昨年より5名減少しています。



6月27日～29日、フォークリフトの検査業検査者資格取得研修が、長野地域職業訓練センターで行われました。受講者数は16名で、例年より少なめでした。この後、各事業場での6か月の実地研修に入りました。

V 事務局だより

研修開催予定(10月初旬まで)

8月24日(金)

リスクアセスメントセミナー
ポリテクセンター長野

9月3日(月)～5日(水) **申込締め切**
資格取得研修

整地運搬積込用等機械(検査業)
長野地域職業訓練センター

10月2日(火)

能力向上教育
フォークリフト
ポリテクセンター松本

10月11日(木)・12日(金)

運転特別教育
1t未満フォークリフト
長野地域職業訓練センター

*詳細は支部HPでご確認ください



7月12日、整地・運搬積込み用・掘削用及び解体用機械の能力向上教育が長野地域職業訓練センターで行われました。受講者は36名と昨年に対して7名増加しました。

7月18日、検査記録表作成コースの実務研修が、ポリテクセンター松本で行われました。受講者は28名、記録表記入の実習を個別指導中心に行い、変更された署名と捺印についての説明がありました。



7月26日、締固め用機械の能力向上教育が、ポリテクセンター松本で行われました。受講者は26名と昨年並みでした。

豆知識

ガスの危険性

都市ガスは、会社によって若干異なるものの、メタン88%、エタン5.8%、プロパン4.5%、ブタン1.7%などの成分となっており、爆発範囲(爆発が起こるガスの範囲)は4.3～14.4%で、比重は0.66と空気より軽いので漏洩すると上のほうに滞留します。

一方、プロパンガスは、成分がプロパン、ノルマルブタン、イソブタン、ブテンの混合物で、爆発範囲はプロパンで2.1%～9.5%と都市ガスより低く、比重は1.6と空気より重いので漏れると下の方に滞留します。そして、両社とも家電機器のスパークやタバコなどの点火源があると爆発します。